

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210581003011	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	内野 成美 / Utino Narumi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	soudan@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	教育学部附属教育実践研究棟 1階 104		
担当教員TEL / Tel	095-819-2297		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日・水曜日のお昼休み または水曜日1限 事前にメールにて連絡をしてください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	特に教科書は定めません。適宜, 指示をします。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	対人関係及び心理学に興味を持ち、積極的に活動にも参加できる意欲のある学生を望みます。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	"長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	グループワークや演習を多用します。
学生へのメッセージ/Message for students	心理学や教育学は、一部の人にだけ役立つような内容ではありません。私たちの生活は人との関わりなしには成り立ちません。私たちは知らず知らずのうちに人に育てられ、人を育てていくのです。そのことを意識し、何気ない関わりを大切にできるような対人関係の素地づくりをしていきたいと思えます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	長崎県教育委員会スクールカウンセラー、スクールカウンセラースーパーバイザー
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介，教養ゼミナールの趣旨説明，教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明，質疑応答，学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定，グループ分け，グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション，グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正
第16回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210581003012	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	兼原 啓二		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	兼原 啓二		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	兼原 啓二		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k_kanehara@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	美術技術棟 1F彫刻実習室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2349		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前, 事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	特に教科書は定めない。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備などについて, 要件があれば記載してください。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	"長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	高校と大学の授業の違いを認識しながら、今後の自分を確立していくための役に立てることができたらよいと思っています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正
第16回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210581003013	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加納 暁子 / Kanou Akiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	加納 暁子 / Kanou Akiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	加納 暁子 / Kanou Akiko		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-akiko nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	音楽棟3階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2346		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールをしてください		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前, 事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	特に教科書は定めない。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備などについて, 要件があれば記載してください。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	"長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	積極的に取り組んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正
第16回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210581003014	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鎌田 英一郎 / Eiichiro Kamada		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鎌田 英一郎 / Eiichiro Kamada		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鎌田 英一郎 / Eiichiro Kamada		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	e-kamada nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	美術技術教室1F115室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2362		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日10:30 ~ 11:30		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	特に教科書は定めない。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備などについて, 要件があれば記載してください。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	"長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	好奇心をもって、粘り強く挑戦し、多様な意見を取り入れ柔軟に考え続ける力、またそれを発信し、前向きに取り組む力を共に身に付けましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	小学校/教育現場における教材、指導内容等についての補足説明
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正
第16回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210581003015	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	倉田 伸 / Shin Kurata		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	倉田 伸 / Shin Kurata		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	倉田 伸 / Shin Kurata		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shin1222kurata nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部棟509号室		
担当教員TEL/Tel	0958192331		
担当教員オフィスアワー/Office hours	電子メールにより受け付ける (shin1222kurata nagasaki-u.ac.jp) (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し, デジタルコンテンツ開発という自主的な知的活動に取り組み, 指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて, 大学生としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主的に課題探求ができる。 ・ 論理的な分析ができる。 ・ ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 ・ わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性, 予習など) ・ ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか, コミュニケーションがとれているかなど) ・ プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか, 話し方は適切か, 図表が適切に配置されているか, 図表は適切に引用されているかなど) ・ レポート 20% (レポートの体裁となっているか, 文脈は正しいかなど) 各回		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各回ごとに次回の予習とホームワークがあるので、次回の講義までに指定された形式でデータを作成しておく(3h-4h)		
キーワード/Keywords	能動的学習, 論理的思考力, 倫理観, プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布する		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	授業への出席は必須です。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	適宜予習をして講義に望むこと。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	倉田伸/高校教師（正規採用・10年）/教科「情報」
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス, シラバスと成績評価基準の説明
第2回	文献・資料の探し方, 図書館ガイダンス
第3回	研究倫理について
第4回	問題解決に向けたデジタルコンテンツ開発（チュートリアル）
第5回	デジタルコンテンツ開発のための情報収集
第6回	開発するデジタルコンテンツのストーリー案の検討
第7回	ストーリー案の相互評価
第8回	デジタルコンテンツの試作
第9回	デジタルコンテンツの中間評価
第10回	デジタルコンテンツの中間評価結果に対する分析
第11回	デジタルコンテンツの改善
第12回	デジタルコンテンツの評価
第13回	デジタルコンテンツの評価結果に対する分析
第14回	発表資料作成
第15回	成果発表とまとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210581003016	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	駒津 順子 / Komatsu Junko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	駒津 順子 / Komatsu Junko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	駒津 順子 / Komatsu Junko		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	j.komatsu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	教育学部4階408室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2268		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜2限		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	1. 知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 2. 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) 3. レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 4. 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加 20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	特に教科書は定めない。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	教育学部学生であること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	教育に関する内容を自分自身で考える機会を設けてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	駒津順子/学校現場における教員経験/学校現場における教員経験がある者が、その経験を活かして、今日的な学校現場での課題への対応を指導する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正
第16回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210581003017	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 千秋 / Nakamura Tiaki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 千秋 / Nakamura Tiaki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 千秋 / Nakamura Tiaki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sonny i.edu.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館308室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2325		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜5講時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード/Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	4 / 5 以上の出席を求める。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	"長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介，教養ゼミナールの趣旨説明，教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明，質疑応答，学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定，グループ分け，グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション，グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正
第16回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210581003018	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉良 史明		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉良 史明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉良 史明		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kira nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	吉良史明研究室(教育学部6階625室)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2299		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日4限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め,科学的な思考方法,課題発見能力,情報収集力,文章読解・文章構成力,学習・実験のデザイン力,レポートや口頭でのプレゼンテーション力,ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており,高校までの教師主導型学習から,大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 また,大学での学習の入り口として,学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて,今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	1. 知的活動への動機づけを高める。(自ら学び,考え,主張し,行動することができる。) 2. 科学的な思考方法,課題発見能力,情報収集力,文章読解・文章構成力,学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し,高い倫理観を身に付けている。) 3. レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 4. 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り,ものの見方,考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ,職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に,この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修,資料収集,十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加 20点,プレゼンテーション 20点,レポート 60点(個人レポート10点,進捗状況・計画等の報告10点,文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード/Keywords	初年次教育,課題探求・課題解決型学習,自己表現・コミュニケーション能力,主体的能動学習		
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	教育学部学生であること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	教育に関する内容を自分自身で考える機会を設けてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正
第16回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210581003019	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kazukeya nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	609研究室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日 3校時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	特に教科書は定めない。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	"長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	大学での授業の基礎を学ぶと共に、全員で仲良く、楽しくコミュニケーションを図って参りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正
第16回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210581003020	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aa97554127 * ms.nagasaki-u.ac.jp (*の箇所は@)		
担当教員研究室/Office	堀井教員研究室(教育学部棟本館611室)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日2校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード/Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	4 / 5 以上の出席を求める。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	"長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	LACS利用+PC必携、授業では主としてOneNoteのアプリを活用する。
学生へのメッセージ/Message for students	教員採用試験合格に向けて各自で授業とは別に一般教養（高校課程）の復習の勉強を心がけなさい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正
第16回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210581003021	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 浩二 / Koji Takahashi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 浩二 / Koji Takahashi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 浩二 / Koji Takahashi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Office	教育学部本館1階110研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2358		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日5限(16時10分~17時40分) * オフィスアワー設定時に会議が開催される場合は不在となるため、できる限り事前に予約してください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	・自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加...20点 ・プレゼンテーション...20点 ・レポート...60点 (個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習：あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 事後学習：発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)
キーワード/Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	授業内容については、受講者の取り組み状況に応じて変更する場合があります。
学生へのメッセージ/Message for students	初年次教育のみならず、大学で学ぶとはどういうことかについて探究してほしい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 初年次セミナーの趣旨説明, 初年次セミナーの具体的進め方・計画の説明
第2回	受講生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表を踏まえた修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210581003022	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	隅田 祥光 / Yoshimitsu Suda		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	隅田 祥光 / Yoshimitsu Suda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	隅田 祥光 / Yoshimitsu Suda		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	geosuda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部棟413		
担当教員TEL/Tel	095-819-2373		
担当教員オフィスアワー/Office hours	適宜(8時から8時50分を推奨)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前, 事後学習の内容/Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード/Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備などについて, 要件があれば記載してください。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	"長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介，教養ゼミナールの趣旨説明，教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明，質疑応答，学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定，グループ分け，グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション，グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正
第16回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210581003023	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	熊崎 耕太		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	熊崎 耕太		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	熊崎 耕太		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k.kumazaki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部棟313		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	?A 知的活動への動機づけを高める。?A 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。?B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。?C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前, 事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: 各テーマに関して, 資料やインターネットを通して情報収集をしておくこと。(2h) 事後学習: 各テーマに関するグループワークを通して, 自分なりの考えをもつようにすること。		
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210581003024	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小西 祐馬 / Konishi Yuuma		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	小西 祐馬 / Konishi Yuuma		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	小西 祐馬 / Konishi Yuuma		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	konishi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信)		
担当教員研究室/Office	教育学部2階224		
担当教員TEL/Tel	095-819-2328		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜昼休み		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前, 事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	特に教科書は定めない。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	なし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	"長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正
第16回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210581003025	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kosuket*nagasaki-u.ac.jp (*を@にかえてください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館2階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日10:30-12:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ, 職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)		
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	特に教科書は定めない。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備などについて, 要件があれば記載してください。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	"長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正
第16回	最終レポートの提出